

2008年度決算を全会一致で認定

決算特別委員会で2008年度決算の審査が12月1日から4日まで行なわれ、市議団からは橋本しげき議員が審査にあたりました。

邑上市長はじめ市側は質問に答え、

市職員の非正規雇用率が44%あり、正規雇用とのバランスがとれているのかという課題を認識している。官製ワーキングプアを生み出さないようにしたい
緑町都営住宅敷地内に平和資料館を建設するため敷地利用について都に要望している。

経済状況で高齢者を中心に生活保護世帯が増えているため、ケースワーカーを1名増員した。

ムーバスのICカード利用実用化を検討したい。

経済的困難で後期高齢者医療制度の保険料を滞納している方に対する保険証とりあげは、原則としておこなわない、などの答弁がありました。

日本共産党武蔵野市議団は、待望の中学校給食が始まったこと、認可外保育施設の保護者への助成増額、特定健診の水準を維持し若年層健診も始めたこと、耐震診断・改修の助成増額、非核都市宣言平和事業を市民参加でさらに発展させたことなど、全体としてくらしと平和を守る市民の要望が実現したことを評価し、決算の認定に賛成しました。

2008年度決算は、9日の本会議で全会一致で認定されました。

小池参議院議員、武蔵野市長を訪ね懇談

日本共産党の小池晃参議院議員は、12月2日、邑上守正市長を表敬訪問し、懇談しました。小池参院議員と邑上市長は大野田小学校、第4中学校の同窓で、市長が3学年上ということで、決算特別委員会最中の昼休み時間でしたが、小・中学校時代の思い出話や、武蔵野市の憲法や平和についてのとりくみ、新政権の政策と地方自治体への影響まで和やかに懇談しました。

懇談には宮本武蔵野三鷹地区委員長、本間まさよ武蔵野市委員長、梶雅子、橋本しげき両武蔵野市議も同席しました。



〔邑上市長と小池参院議員(中央)、右へ梶市議、橋本市議、左端本間市委員長。〕